

数値地図(地図画像)  
データファイル仕様説明書

平成 20 年 3 月改訂

国土交通省 国土地理院

# 目 次

第 1 章	数値地図 25000 (地図画像) CD-ROM 版-----	1
第 2 章	数値地図 50000 (地図画像) CD-ROM 版-----	21
第 3 章	数値地図 200000 (地図画像) CD-ROM 版-----	33

---

## 「数値地図 (地図画像) データファイル仕様説明書」の使用上の注意

「数値地図 (地図画像) 表示ソフト」では、CD-ROM で刊行している 3 種類の数値地図 (地図画像) データ (「数値地図 25000 (地図画像)」、「数値地図 50000 (地図画像)」、「数値地図 200000 (地図画像)」) が表示可能となっています。そのため、この仕様説明書では、3 種類の数値地図 (地図画像) データについての解説を参考のため掲載しています。

# 第1章 数値地図 25000 (地図画像) データファイル仕様説明書

## 1. 数値地図 25000 (地図画像) の概要

- (1) 「数値地図 25000 (地図画像)」の CD-ROM には、2 万 5 千分 1 地形図を 1 図葉づつ画像データとして数値化 (1 画素 100 μm) したファイル (以下、「図葉ファイル」という。) が格納されています。
- (2) 図葉ファイルは、8 色 (地図の黒い線、茶色の線、茶色の面等々に相当; 図葉ファイルフォーマット参照) に分かれており、各色 1 ビット、全体では 1 画素 8 ビット (1 バイト) で表現されています。
- (3) 図葉ファイルは、一般的な画像フォーマットである TIFF 形式のラスターデータですので、誰でも容易に扱えます。例えば、TIFF 形式の画像を取り扱うソフトにより、画像の加工、ワープロ文書への貼り付け等が行えます。
- (4) 1 枚の CD-ROM には、1 次メッシュ 1 区画 (20 万分 1 地勢図の範囲に相当) の図葉ファイル、つまり、海部が無い場合には 2 万 5 千分 1 地形図 64 面のデータが入っています。また、複数の 1 次メッシュ区画のデータが入っている場合があります。
- (5) 平成 17 年以降に刊行される数値地図 25000 (地図画像) CD-ROM には、「平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式」により作成された新しい図郭の地形図 (以下、「新図郭地形図」という) の場合、新図郭地形図のデータを格納し、それ以前の図式により作成された地形図 (以下、「旧図郭地形図」という) は旧図郭地形図のデータを格納しています。
- (6) 新図郭地形図では、分図・延伸分図の計測が可能となっています。

## 2. ファイル構成

- (1) 新・旧図郭地形図が混在する CD-ROM (「数値地図 25000 (地図画像) 表示ソフト Ver4.1」収録版) のファイル構成は、次のようになっています。

¥	README.txt	(本 CD に関する注意)
	mapdsp41_setup.exe	(数値地図(地図画像)表示ソフト Ver.4.1 インストールファイル)
	mapdsp41_manual.pdf	(数値地図(地図画像)表示ソフト Ver.4.1 操作説明書)
	mapimage.pdf	(数値地図(地図画像)データファイル仕様説明書)
	vcredist_x86.exe	(Microsoft Visual C++ 2005 SP1 再頒布可能パッケージ(x86))
	kanrconv.pdf	(管理ファイル変換ソフト操作説明書)
	DATA	
	KANRI2KT.CSV	(新図郭地形図および旧図郭地形図の統合管理ファイル)
	KANRI2KW.CSV	(新図郭地形図の管理ファイル)
	KANRI2KN.CSV	(旧図郭地形図の管理ファイル)
	INDEX.CSV	(索引図ファイル)
	MAGDEF.CSV	(磁針方位ファイル)
	NEW_HANREI.TIF	(新図郭地形図の凡例ファイル)
	OLD_HANREI.TIF	(旧図郭地形図の凡例ファイル)
	1 次メッシュ番号	*****.TIF (図葉ファイル)
	.	.
	.	.

(2) 新・旧図郭地形図が混在する CD-ROM (「数値地図 25000 (地図画像) 表示ソフト Ver3.2」収録版) 及び世界測地系対応版 CD-ROM (「数値地図 25000 (地図画像) 表示ソフト Ver3.1」収録版) のファイル構成は、次のようになっています。

¥	SETUP.EXE	(インストーラー)
	SETUPINF.HTM	(インストール操作手順書)
	MAPDSP3—MAPDSP3.EXE	(数値地図(地図画像)表示ソフト)
	MANUAL.HTM	(数値地図(地図画像)表示ソフト 操作説明書)
	SUB1.HTM 等	(数値地図(地図画像)表示ソフト オンラインヘルプ関連ファイル)
	UNINST.EXE	(数値地図(地図画像)アンインストーラー 起動プログラム)
	UNJOB.EXE	(数値地図(地図画像)アンインストーラー 本体)
	UNINSINF.HTM	(数値地図(地図画像)アンインストーラー 操作説明書)
	KANRCONV.EXE	(管理ファイル変換ソフト)
	KCONVIN.HTM	(管理ファイル変換ソフト操作説明書)
	README.HTM	(数値地図(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ25.HTM	(数値地図 25000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ50.HTM	(数値地図 50000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ200.HTM	(数値地図 200000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	その他	(表示ソフト関連ファイル)
	TBL—25_2000.PRM	(数値地図 25000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	50_2000.PRM	(数値地図 50000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	200_2000.PRM	(数値地図 200000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	ALL.IND	(都道府県境界線インデックスデータ)
	ALL.POL	(都道府県境界線ポリゴンデータ)
	HOPPOU.DAT	(北方四島境界線データ)
	DEFCOL.DAT	(数値地図 25000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	DEFCOL5.DAT	(数値地図 50000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	DEFCOL20.DAT	(数値地図 200000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	FONT.TXT	(文字フォント定義ファイル)
	FONT01.TXT	(文字フォント定義ファイル)
	MAPDSP.INI	(数値地図(地図画像)表示ソフト 設定ファイル)
	SCALE.DAT	(BMP ファイル出力用のスケールデータ)
	SELCOL.DAT	(地図選択画面の色設定ファイル)
	SUJI.DAT	(BMP ファイル出力用の数字フォントデータ)
	HTM — *.GIF、*.JPG	(HTML 形式ファイルで使用する画像ファイル)

【新・旧図郭地形図が混在する CD-ROM (「数値地図 25000 (地図画像) 表示ソフト Ver3.2」収録版) の「DATA」フォルダ】

DATA—	KANRI2KT.CSV	(新図郭地形図および旧図郭地形図の統合管理ファイル)
	KANRI2KW.CSV	(新図郭地形図の管理ファイル)
	KANRI2KN.CSV	(旧図郭地形図の管理ファイル)
	INDEX.CSV	(索引図ファイル)
	MAGDEF.CSV	(磁針方位ファイル)
	NEW_HANREI.TIF	(新図郭地形図の凡例ファイル)
	OLD_HANREI.TIF	(旧図郭地形図の凡例ファイル)
	1 次メッシュ番号	*****.TIF (図葉ファイル)
	⋮	⋮
	⋮	⋮

【世界測地系対応版 CD-ROM (「数値地図 25000 (地図画像) 表示ソフト Ver3.1」収録版) の「DATA」フォルダ】

DATA—	KANRI2K.CSV	(世界測地系による管理ファイル)
	KANRI.CSV	(日本測地系による管理ファイル)
	INDEX.CSV	(索引図ファイル)
	MAGDEF.CSV	(磁針方位ファイル)
	HANREI.TIF	(凡例ファイル)
	1 次メッシュ番号	*****.TIF (図葉ファイル)
	⋮	⋮
	⋮	⋮

### 3. 図葉ファイルフォーマット

#### (1) 概要

2万5千分1地形図1面が、図葉ファイルとして1つのTIFFファイルとなっています。画像データは、図郭左上隅から左方に概ね9.0mmおよび上方に7.5mmの地点と図郭右下隅から右方および下方に概ね9.0mmの地点を結ぶ線を対角線とし、上辺及び下辺と平行な辺を含む長方形となっています（ただし、延伸図の場合は、図を含む範囲を適宜設定しています）。したがって、地形図の上辺及び下辺は、TIFFファイル内の画像データのピクセル方向と概ね一致しています。

#### (2) TIFFファイルの構造

図葉ファイルは、PackBits圧縮されたTIFF（Revision5.0以上）ファイルです。

1ピクセル8ビットで表現されたカラーパレット画像であり、各ビットが2万5千分1地形図の各版（通常は、全部で8版）に対応しています。各ピクセルにおいて、その版に画線があれば“1”、なければ“0”となっています。版とビット位置の関係は、次のようになっています。

##### 【版とビット位置、表示色および内容の関係】

ビット	版名	既定の表示色	標準的な内容
上位ビット . . . . .	0 注記	黒	居住地名や人工物・自然物等の名称、または建物記号等
	1 注記マスク	白	注記版と墨版が重なりあう箇所では墨版を隠す
	2 墨	灰色	道路、鉄道、建物、境界等
	3 藍	青色	水涯線、水田等
	4 褐	暗茶色	等高線、がけ、土堤、地下鉄等
	5 墨マスク	緑色	樹木に囲まれた居住地
下位ビット .	6 藍マスク	水色	河川水面、海水面、湖水面
	7 褐マスク	黄色	国道

\* 地形図データの一部に注記版と墨版が合版され、注記が墨版に入っている場合や注記の下の道路、建物、境界等の部分が欠落している場合があります。これは、2万5千分1地形図において同色での表現となる墨版と注記版を合版した従来の作業工程に起因するものであり、一定時期の作業図葉に発生しています。

#### TIFFファイルの階層

TIFFファイルの3レベルの階層は、それぞれ次のとおりです。

##### (a) ファイルヘッダ

項 目	開始	終了	内容
バイトオーダー	1	2	“MM”*
バージョン番号	3	4	“42”
最初のイメージファイルディレクトリの位置	5	8	

\* 16ビットないし32ビット整数は、バイト上位から下位の順序で保存されることを示す（ビッグエンディアン）

(b)イメージファイルディレクトリ (IFD)

IFD は 1 つで、14 のエントリからなっています。各エントリに対応するタグ番号は次の通りです。

項目	タグ番号	デフォルト値	備考
ピクセル数	256		
ライン数	257		
1 ピクセル当たりのビット数	258	8	
圧縮形式	259	32773	PackBits 圧縮
色表現法	262	3	カラーパレット
画像ブロックの開始位置	273		
カラープレーンの数	277	1	
画像ブロックのライン数	278		
画像ブロックのデータ量	279		
ピクセル方向解像度	282	254 dpi	
ライン方向解像度	283	254 dpi	
データ保存様式	284	1	
解像度の単位	296	2	インチ単位
カラーパレット	320		

(c)データ

圧縮時のデータ量が 8KB を越えない範囲でライン長を定め、ブロック化しています。全体のファイル構造は次のとおりです。

内 容
ヘッダ (8 バイト)
第 1 画像ブロックの PackBits 圧縮データ
:
:
最終画像ブロックの PackBits 圧縮データ
タグの数 (2 バイト)
1 番目のタグ (12 バイト)
:
:
14 番目のタグ (12 バイト)
"0000" (4 バイト)
画像ブロックの開始位置 (タグ 273 に対応)(画像ブロック数×4 バイト)
:
画像ブロックのデータ量 (タグ 279 に対応)(画像ブロック数×4 バイト)
:

ピクセル方向解像度 (8 バイト)
ライン方向解像度 (8 バイト)
R (赤色) のパレット 0 ~ 255 (512 バイト)
G (緑色) のパレット 0 ~ 255 (512 バイト)
B (青色) のパレット 0 ~ 255 (512 バイト)

### (3) カラーパレットの初期設定

カラーパレットは、画像データが 8 ビットで表現されているので、0 から 255 までのコードに対し、R,G,B の値を指定しています。この値は、TIFF のフォーマットにしたがい、2 バイト (符号無し) で表現しています。初期設定では、上位ビットにある版を優先しています。各版の色指定は、次のとおりです。

#### 【カラーパレットの初期設定】

		版名	表示色	R	G	B
上位ビット	0	注記		0	0	0
	1	注記マスク		65535	65535	65535
下位ビット	2	墨		32768	32768	32768
	3	藍		0	0	65535
	4	褐		32768	0	0
	5	墨マスク		0	65535	0
	6	藍マスク		0	65535	65535
	7	褐マスク		65535	65535	0

### (4) PackBits 圧縮法

圧縮の基本型はつぎのとおりです。

PackBits 圧縮では画像を、(a) 「同じ値のバイトデータが続く部分」と (b) 「1 バイト毎にデータが異なる部分」に分けて表します。

- (a)  $n$  ( $2 \leq n \leq 128$ ) 回 同一のバイトデータ “d” が続く時、

-n+1	d
------	---

とする(このとき、 $-127 \leq -n+1 \leq -1$  となり、符号付 char 型で表現できる)。例えば、10 回同一のバイトデータ FF が続くとき、F7 FF となります。

- (b)  $n$  ( $1 \leq n \leq 128$ ) 回 異なるバイトデータ “d1,d2,d3,d4,.....dn” が続く時、

n-1	d1,d2,d3,d4,.....dn
-----	---------------------

とする（このとき、 $0 \leq n-1 \leq 127$  となり、符号付 char 型で表現できる）。例えば、10 回異なるバイトデータ F0,F1,・・・F8,F9 が続くとき 09 F0 F1・・・F8 F9 となります。

データ中には複数のラインが 1 ブロックとして記録されていますが、PackBits 圧縮は、各ライン毎に行われます。

ランの長さが 129 バイト以上の場合は、分割して記述します（最大長（128 ピクセル分）のランを必要数だけ並べて、端数部をもう 1 つのランとして記述する）。

#### 4. 平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式対応版「数値地図 25000（地図画像）」 (CD-ROM)管理ファイルフォーマット

##### (1) 新図郭地形図および旧図郭地形図の統合管理ファイルフォーマット

平成 15 年 11 月以降発行の平成 14 年 2 万 5 千分 1 地形図図式に基づき作成された新図郭地形図(世界測地系に基づく隣接図との重複部(拡張部)を持つ新図郭地形図)については、全国整備が完了するまでの間、これまでの日本測地系による地形図(旧図郭地形図)と併用することになります。

このファイルは CD-ROM に含まれる全ての地形図の情報を収録し、新旧図郭地形図の区別が可能です。ファイル名は、KANRI2KT.CSV で、項目とその内容は次のとおりです。

##### 【新・旧図郭地形図の統合管理ファイルフォーマット】

[ファイル名：KANRI2KT.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目	内 容
新旧地形図存否フラグ	1：新図郭地形図 2：旧図郭地形図
ファイル名	通常は 2 次メッシュコードが記述されているが、変則図郭等の場合は、図郭に係るいずれかのコードを割り当てている。（本図と分図は同一名）
本図・分図フラグ	0：（新図郭地形図の）分図又は延伸分図 1：本図
分図 No.	延伸分図以外の分図に割り当てた番号。（「本図・分図フラグ」が"0"の場合のみ使用。「本図・分図フラグ」が"1"の場合は空欄）
延伸分図 No.	延伸分図（本図の区画に重複ないし接する分図）について割り当てた番号。（「本図・分図フラグ」が"0"の場合のみ使用。「本図・分図フラグ」が"1"の場合は空欄）
図名（漢字）	2 万 5 千分 1 地形図の図名（漢字）/ 当該地形図の分図名（漢字）
図名（よみ）	2 万 5 千分 1 地形図の図名（ひらがな）/ 当該地形図の分図名（ひらがな）
地形図コード	100 万分 1 日本、20 万分 1 地勢図、5 万分 1 地形図、2 万 5 千分 1 地形図の番号を連記して表示。（分図の場合、地形図に記載があれば表示）
号数	20 万分 1 地勢図の名称に 5 万分 1 地形図、2 万 5 千分 1 地形図の番号を連記して表示（分図の場合は未記載）
2 次メッシュコード	当該図 / 分図の図郭中央位置（世界測地系）での 2 次メッシュコード （ ファイル名として使用されたコードとは異なる場合がある）



注 1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルのファイル名に".TIF" という拡張子を付けたものとなっています。(例: 2万5千分1「東京首部」= 533946.TIF)

注 2) 図名(漢字)のうち、JIS 第1水準及び第2水準以外の漢字については、ひらがなで表記しています(例: 「とどヶ崎」(盛岡3号東-4)等)。また、旧字体の漢字についてはJIS 例示字形の都合上、新字体で表記しています。(例: 「那覇」(那覇15号-2)の“覇”等)

## (2) 新図郭地形図の管理ファイルフォーマット

平成15年度11月以降刊行の平成14年2万5千分1地形図図式に基づき作成された”新図郭地形図”についての図葉ごとの図歴、世界測地系による図郭四隅の経緯度、UTM座標、ピクセル・ライン番号等を1レコードとする管理ファイルです(分図についても同様に、各々本図に続いてレコードを作成している)。ファイル名は、KANRI2KW.CSVで、項目と内容は次のとおりです。

### 【新図郭地形図の管理ファイルフォーマット】

[ファイル名: KANRI2KW.CSV; ファイル形式: CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目	内 容		
ファイル名	通常は2次メッシュコードが記述されているが、変則図郭等の場合は、図郭に係るいずれかのコードを割り当てている。(本図と分図は同一名)		
本図・分図フラグ	1: 本図(分図あり)又は本図(分図なし)の場合 0: 分図又は延伸分図の場合		
分図 No.	延伸分図以外の分図に割り当てた番号。分図を持たない図では空欄		
延伸分図 No.	延伸分図(本図の区画に重複または接する分図)について割り当てた番号。分図を持たない図では空欄		
図名(漢字)	2万5千分1地形図の図名(漢字)/当該地形図の分図名(漢字)		
図名(よみ)	2万5千分1地形図の図名(ひらがな)/当該地形図の分図名(ひらがな)		
地形図コード	100万分1日本、20万分1地勢図、5万分1地形図、2万5千分1地形図の番号を連記して表示(分図の場合、地形図に記載があれば表示)		
号数	20万分1地勢図の名称に5万分1、2万5千分1地形図の番号を連記して表示(分図の場合は未記載)		
測量年	当該2万5千分1地形図が初めて作成された年、または改測(再作成)された年(分図については、地形図に記載があれば表示)		
更新年	当該2万5千分1地形図を全部又は一部修正した年度のうち最新のもの(分図については、地形図に記載があれば表示)		
発行年月日	2万5千分1地形図の発行年月日(分図の場合は空欄)		
分図の本図への 挿入先	左下緯度	度	挿入された分図の図郭左下隅に対応する、本図の緯度・経度(世界測地系) 分図以外については、すべて"0"
		分	
		秒	
	左下経度	度	

		分	
		秒	
図郭四隅 経緯度	左上緯度	度	世界測地系による図郭四隅の緯度および経度 (分図についても同様に記載)
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
	左下緯度	度	
		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
	右下緯度	度	
		分	
		秒	
	右下経度	度	
分			
秒			
右上緯度	度		
	分		
	秒		
右上経度	度		
	分		
	秒		
図郭四隅 UTM (ピクセル単位)	左上	E	世界測地系による図郭四隅の UTM 座標(E,N)をピクセル単位で表している。 この値に 1 ピクセルに相当する地上距離 (2.5m/ピクセル) を掛けると、通常の UTM 座標が得られる。但し、E の値は中央子午線上で"0"としている。 (分図の場合は、すべて"0")
		N	
	左下	E	
		N	
	右下	E	
		N	
	右上	E	
		N	
図郭四隅ファイ	左上	P	図郭四隅の画像データ上でのピクセルおよびライン座標(P, L)。原点は左上

ル座標		L	が"0"となる。画像データの上辺及び下辺は、ピクセル方向と一致しているの で、左上と左下のLの値、右上と右下のLの値はそれぞれ概ね一致する。 (分図についても同様に記載)
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
	右上	P	
L			
基本区画四隅経 緯度	左上緯度	度	基本区画四隅の緯度および経度。基本区画とは、グリニッジ子午線と赤道の 交点を基準に、経度差 7 30 、緯度差 5 0 毎の経線及び緯線によって 区画される地域である。(分図の場合は全て空欄)
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
	左下緯度	度	
		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
	右下緯度	度	
		分	
		秒	
	右下経度	度	
		分	
		秒	
	右上緯度	度	
		分	
		秒	
	右上経度	度	
		分	
		秒	
基本区画四隅 UTM(ピクセル 単位)	左上	E	世界測地系による基本区画四隅の UTM 座標(E,N)をピクセル単位で表して いる。この値に 1 ピクセルに相当する地上距離 (2.5m/ピクセル)を掛ける と、通常の UTM 座標が得られる。但し、Eの値は中央子午線上で"0"として いる。(分図の場合は全て空欄)
		N	
	左下	E	
		N	

	右下	E	
		N	
	右上	E	
		N	
2次メッシュコード			当該図/分図の図郭中央位置(世界測地系)での2次メッシュコード (ファイル名として使用されたコードとは異なる場合がある。分図の場合は"0")
隣接地形図	左上		隣接する8方向の区画範囲に地形図が存在する場合は、その図郭中央位置(世界測地系)の2次メッシュコードを入れ、存在しない場合は空欄とする。 (分図の場合は、すべて"0")
	上		
	右上		
	右		
	右下		
	下		
	左下		
	左		
図葉ファイル作成日			図葉ファイル(TIFF画像)の作成年月日(分図の場合は空欄)
磁針方位西偏		度	当該地形図の磁針方位西偏。東偏の場合は、負数を表示 (分図の場合、地形図に記載がある場合は記入、無い場合は空欄)
		分	
旧図郭四隅 経緯度	左上緯度	度	世界測地系による旧図郭四隅の緯度および経度 (分図の場合は空欄)
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
	左下緯度	度	
		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
右下緯度	度		
	分		
	秒		
右下経度	度		
	分		
	秒		

	右上緯度	度	
		分	
		秒	
	右上経度	度	
		分	
		秒	
旧図郭四隅 画素座標	左上	P	旧図郭四隅の画像データ上でのピクセルおよびライン座標(P, L) 画像データの上辺及び下辺は、ピクセル方向と一致しているため、左上と左下のLの値、右上と右下のLの値はそれぞれ概ね一致する。 新図郭地形図の移動により、旧図郭の四隅が新図郭の外に位置した場合"0"とする。(分図の場合は空欄)
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
右上	P		
	L		

注 1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルのファイル名に".TIF" という拡張子を付けたものとなっています。(例: 2万5千分1「東京首部」= 533946.TIF)

注 2) 図名(漢字)のうち、JIS 第 1 水準及び第 2 水準以外の漢字については、ひらがなで表記しています(例: 「とどヶ崎」(盛岡 3 号東-4) 等)。また、旧字体の漢字については JIS 例示字形の都合上、新字体で表記しています。(例: 「那覇」(那覇 15 号-2) の「覇」等)

### (3) 旧図郭地形図の管理ファイルフォーマット

日本測地系に基づく旧図郭で作成された 2 万 5 千分 1 地形図についての管理ファイルです(新図郭地形図が全国整備されるまでの間、旧図郭による地形図の地図画像を、新図郭によるものと併せて使用していくために添付するファイル)。図郭の管理ファイルは、図葉毎の図歴、図郭四隅の経緯度、UTM 座標、ピクセル・ライン番号等を 1 レコードとします。ファイル名は、KANRI2KN.CSV で、項目と内容は次のとおりです。

#### 【旧図郭地形図の管理ファイルフォーマット】

[ファイル名: KANRI2KN.CSV; ファイル形式: CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目	内 容
ファイル名	通常は 2 次メッシュコードが記述されているが、変則図郭等の場合は図郭に係るいずれかのコードを割り当てている。
本図・分図フラグ	1: 分図を持たない図又は本図の場合 0: 分図の場合 (旧図郭地形図の分図レコードはありません)
図名(漢字)	2 万 5 千分 1 地形図の図名(漢字)
図名(よみ)	2 万 5 千分 1 地形図の図名(ひらがな)

地形図コード	100 万分 1 日本、20 万分 1 地勢図、5 万分 1 地形図、2 万 5 千分 1 地形図の番号を連記して表示																																								
号数	20 万分 1 地勢図の名称に 5 万分 1 地形図、2 万 5 千分 1 地形図の番号を連記して表示																																								
基本測量	当該 2 万 5 千分 1 地形図がはじめて作成された年																																								
改測	当該 2 万 5 千分 1 地形図が再作成された最新の年																																								
修正	当該 2 万 5 千分 1 地形図が修正された最新の年																																								
部分修正	当該 2 万 5 千分 1 地形図が部分修正された最新の年																																								
空中写真	最新の修正測量に用いられた空中写真の撮影年月																																								
現地調査	最新の修正測量の際の現地調査年月																																								
発行年月日	2 万 5 千分 1 地形図の発行年月日																																								
図郭四隅 経緯度	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">左上緯度</td> <td>度</td> <td rowspan="3">世界測地系による図郭四隅の緯度および経度</td> </tr> <tr> <td>分</td> </tr> <tr> <td>秒</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">左上経度</td> <td>度</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>分</td> </tr> <tr> <td>秒</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">左下緯度</td> <td>度</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>分</td> </tr> <tr> <td>秒</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">左下経度</td> <td>度</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>分</td> </tr> <tr> <td>秒</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">右下緯度</td> <td>度</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>分</td> </tr> <tr> <td>秒</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">右下経度</td> <td>度</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>分</td> </tr> <tr> <td>秒</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">右上緯度</td> <td>度</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>分</td> </tr> <tr> <td>秒</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">右上経度</td> <td>度</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>分</td> </tr> <tr> <td>秒</td> </tr> </table>	左上緯度	度	世界測地系による図郭四隅の緯度および経度	分	秒	左上経度	度		分	秒	左下緯度	度		分	秒	左下経度	度		分	秒	右下緯度	度		分	秒	右下経度	度		分	秒	右上緯度	度		分	秒	右上経度	度		分	秒
左上緯度	度		世界測地系による図郭四隅の緯度および経度																																						
	分																																								
	秒																																								
左上経度	度																																								
	分																																								
	秒																																								
左下緯度	度																																								
	分																																								
	秒																																								
左下経度	度																																								
	分																																								
	秒																																								
右下緯度	度																																								
	分																																								
	秒																																								
右下経度	度																																								
	分																																								
	秒																																								
右上緯度	度																																								
	分																																								
	秒																																								
右上経度	度																																								
	分																																								
	秒																																								
図郭四隅 UTM	左上	E 世界測地系による図郭四隅の UTM 座標(E,N)をピクセル単位で表している。																																							

(ピクセル単位)	左下	N	この値に1ピクセルに相当する地上距離(2.5m/ピクセル)を掛けると、通常のUTM座標が得られる。但し、Eの値は中央子午線上で"0"としている。
		E	
	右下	N	
		E	
	右上	N	
		E	
図郭四隅 ファイル座標	左上	P	図郭四隅の画像データ上でのピクセルおよびライン座標(P, L) 画像データの上辺及び下辺は、ピクセル方向と一致しているため、左上と左下のLの値、右上と右下のLの値はそれぞれ概ね一致する。
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
	右上	P	
		L	
2次メッシュコード		当該図の図郭中央位置(世界測地系)での2次メッシュコード (ファイル名として使用されたコードとは異なる場合がある)	
延伸フラグ	左上	図郭の外側8方向について、延伸部の存否を表すフラグ 延伸の方向を上、下、左、右、右上、左上、右下、左下の8方向とし、延伸部のある場合は"1"のフラグを、ない場合には"0"のフラグを立てる	
	上		
	右上		
	右		
	右下		
	下		
	左下		
	左		
図葉ファイル作成日		図葉ファイル(TIFF画像)の作成年月日	
磁針方位西偏	度	当該地形図の磁針方位西偏。東偏の場合は、負数を表示	
	分		

注1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルのファイル名に".TIF"という拡張子を付けたものとなっています。(例: 2万5千分1「東京首部」= 533946.TIF)

注2) 図名(漢字)のうち、JIS第1水準及び第2水準以外の漢字については、ひらがなで表記しています(例: 「とどヶ崎」(盛岡3号東-4)等)。また、旧字体の漢字についてはJIS例示字形の都合上、新字体で表記しています。(例: 「那覇」(那覇15号-2)の「覇」等)

注3) 数値地図(地図画像)表示ソフトVer3.2以前のバージョンにおける、計測メニューの「概略経緯度」及び表示メニューの「世界測地系グリッド」は、図郭四隅ファイル座標を基準に計算しています。そのため、図葉ファイル中に分図が存在する場合、分図の図郭内での「概略経緯度」及び「世界測地系グリッド」は有効な数

値ではありません。

また、分図の位置関係を示す位置図の図郭内については、「計測メニュー」の各機能（概略経緯度、概略距離、概略面積）及び表示メニューの「縮尺目盛り」、「世界測地系グリッド」に示される数値は有効な数値ではありません。

## 5. 世界測地系対応版「数値地図 25000（地図画像）」(CD-ROM)管理ファイルフォーマット

図葉ごとの図歴、世界測地系による図郭四隅の経緯度、UTM 座標、ピクセル・ライン番号等を 1 レコードとする CSV 形式のファイルです。ファイル名は、KANRI2K.CSV で、項目とその内容は次のとおりです。

【世界測地系対応版「数値地図 25000（地図画像）」(CD-ROM) 管理ファイルフォーマット】  
[ファイル名：KANRI2K.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目		内 容	
2 次メッシュコード		通常は該当する図葉の 2 次メッシュコードが記述されているが、非正規図郭の場合は、図郭に係るどれかのコードを割り当てている	
図名（漢字）		2 万 5 千分 1 地形図の図名（漢字）	
図名（よみ）		2 万 5 千分 1 地形図の図名（ひらがな）	
地形図コード		100 万分 1 日本、20 万分 1 地勢図、5 万分 1 地形図、2 万 5 千分 1 地形図の番号を連記して表示	
号数		20 万分 1 地勢図の名称に 5 万分 1、2 万 5 千分 1 地形図の番号を連記して表示	
基本測量		当該 2 万 5 千分 1 地形図がはじめて作成された年	
改測		当該 2 万 5 千分 1 地形図が再作成された最新の年	
修正		当該 2 万 5 千分 1 地形図が修正された最新の年	
部分修正		当該 2 万 5 千分 1 地形図が部分修正された最新の年	
空中写真		最新の修正測量に用いられた空中写真の撮影年月	
現地調査		最新の修正測量の際の現地調査年月	
発行年月日		2 万 5 千分 1 地形図の発行年月日	
図郭四隅経緯度	左上緯度	度	世界測地系による図郭四隅の緯度および経度
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
左下緯度	度		



		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
	右下緯度	度	
		分	
		秒	
	右下経度	度	
		分	
		秒	
	右上緯度	度	
		分	
		秒	
	右上経度	度	
		分	
		秒	
図郭四隅 UTM (ピクセル単位)	左上	E	世界測地系による図郭四隅の UTM 座標(E,N)をピクセル単位で表している この値に 1 ピクセルに相当する地上距離 (2.5m/ピクセル) を掛けると、通常 の UTM 座標が得られる。但し、E の値は中央子午線上で"0"としている
		N	
	左下	E	
		N	
	右下	E	
		N	
右上	E		
	N		
図郭四隅ファイル座標	左上	P	図郭四隅の画像データ上でのピクセルおよびライン座標(P, L) 画像データの上辺及び下辺は、ピクセル方向と一致しているので、左上と左 下の L の値、右上と右下の L の値はそれぞれ概ね一致する。
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
	右上	P	
		L	
延伸フラグ	左上	図郭の外側 8 方向について延伸部の存否を表すフラグ	
	上	延伸方向を上、下、左、右、右上、左上、右下、左下の 8 方向とし、延伸	

	右上	のある場合は"1"のフラグ、ない場合には"0"のフラグを立てる。
	右	
	右下	
	下	
	左下	
	左	
図葉ファイル作成日		図葉ファイル (TIFF 画像) の作成年月日
磁針方位西偏	度	当該地形図の磁針方位西偏
	分	
予備 1		予備のためのフィールド。将来、フィールドを追加する必要がある場合に使用する。
予備 2		
予備 3		
予備 4		
予備 5		
予備 6		
予備 7		
予備 8		
予備 9		
予備 10		

注 1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルのファイル名に".TIF" という拡張子を付けたものとなっています。(例: 2万5千分1「東京首部」= 533946.TIF)

注 2) 図名(漢字)のうち、JIS 第1水準及び第2水準以外の漢字については、ひらがなで表記しています(例: 「とどヶ崎」(盛岡3号東-4)等)。また、旧字体の漢字についてはJIS 例示字形の都合上、新字体で表記しています。(例: 「那覇」(那覇15号-2)の“覇”等)

注 3) 数値地図(地図画像)表示ソフト Ver3.2 以前のバージョンにおける、計測メニューの「概略経緯度」及び表示メニューの「世界測地系グリッド」は、図郭四隅ファイル座標を基準に計算しています。そのため、図葉ファイル中に分図が存在する場合、分図の図郭内での「概略経緯度」及び「世界測地系グリッド」は有効な数値ではありません。

また、分図の位置関係を示す位置図の図郭内については、「計測メニュー」の各機能(概略経緯度、概略距離、概略面積)及び表示メニューの「縮尺目盛り」、「世界測地系グリッド」に示される数値は有効な数値ではありません。

## 6. 日本測地系版「数値地図 25000 (地図画像)」(CD-ROM)管理ファイルフォーマット

日本測地系による管理ファイルは、世界測地系移行後の暫定期間、参考のため添付するファイ

ルであり、将来的には添付を停止する予定ですので、ご注意ください。

日本測地系による管理ファイルは、図葉ごとの図歴、日本測地系による図郭四隅の経緯度、UTM座標、ピクセル・ライン番号等を1レコードとするCSV形式のファイルです。ファイル名は、KANRI.CSVで、項目と内容は次のとおりです。

【日本測地系版「数値地図25000(地図画像)」(CD-ROM)管理ファイルフォーマット】

[ファイル名：KANRI.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目		内 容	
2次メッシュコード		通常は該当する図葉の2次メッシュコードが記述されているが、非正規図郭の場合は、図郭に係るどれかのコードを割り当てている。	
図名(漢字)		2万5千分1地形図の図名(漢字)	
図名(よみ)		2万5千分1地形図の図名(ひらがな)	
地形図コード		100万分1日本、20万分1地勢図、5万分1地形図、2万5千分1地形図の番号を連記して表示	
号数		20万分1地勢図の名称に5万分1、2万5千分1地形図の番号を連記して表示	
基本測量		当該2万5千分1地形図がはじめて作成された年	
改測		当該2万5千分1地形図が再作成された最新の年	
修正		当該2万5千分1地形図が修正された最新の年	
部分修正		当該2万5千分1地形図が部分修正された最新の年	
空中写真		最新の修正測量に用いられた空中写真の撮影年月	
現地調査		最新の修正測量の際の現地調査年月	
発行年月日		2万5千分1地形図の発行年月日	
図郭四隅 経緯度	左上緯度	度	図郭四隅の緯度及び経度
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
	左下緯度	度	
		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
右下緯度	度		
	分		
	秒		

	右下経度	度 分 秒	
	右上緯度	度 分 秒	
	右上経度	度 分 秒	
図郭四隅 UTM (ピクセル単位)	左上	E	図郭四隅の UTM 座標 (E,N) をピクセル単位で表している。この値に 1 ピクセルに相当する地上距離 (2.5m/ピクセル) を掛けると、通常の UTM 座標が得られる。但し、E の値は中央子午線上で"0"としている。
		N	
	左下	E	
		N	
	右下	E	
		N	
右上	E		
	N		
図郭四隅 ファイル座標	左上	P	図郭四隅の画像データ上でのピクセルおよびライン座標(P, L) 画像データの上辺及び下辺は、ピクセル方向と一致しているため、左上と左下の L の値、右上と右下の L の値はそれぞれ概ね一致する。
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
右上	P		
	L		
延伸フラグ	左上		図郭の外側 8 方向について、延伸部の存否を表すフラグ。延伸方向を上、下、左、右、右上、左上、右下、左下の 8 方向とし、延伸のある場合は"1"のフラグ、ない場合には"0"のフラグを立てる。
	上		
	右上		
	右		
	右下		
	下		
	左下		
	左		

注 1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルのファイル名に".TIF" という拡張子を付けたものとなっています。(例: 2万5千分1「東京首部」= 533946.TIF)

注2) 図名(漢字)のうち、JIS 第1水準及び第2水準以外の漢字については、ひらがなで表記しています(例:「とどヶ崎」(盛岡3号東-4)等)。また、旧字体の漢字についてはJIS 例示字形の都合上、新字体で表記しています。(例:「那覇」(那覇15号-2)の“覇”等)

注3) 数値地図(地図画像)表示ソフト Ver3.2 以前のバージョンにおける、計測メニューの「概略経緯度」及び表示メニューの「世界測地系グリッド」は、図郭四隅ファイル座標を基準に計算しています。そのため、図葉ファイル中に分図が存在する場合、分図の図郭内での「概略経緯度」及び「世界測地系グリッド」は有効な数値ではありません。

また、分図の位置関係を示す位置図の図郭内については、「計測メニュー」の各機能(概略経緯度、概略距離、概略面積)及び表示メニューの「縮尺目盛り」、「世界測地系グリッド」に示される数値は有効な数値ではありません。

## 7. 数値地図 25000 (地図画像) 座標変換用図葉代表パラメータファイルフォーマット

数値地図 25000 (地図画像) 座標変換用図葉代表パラメータファイルは、2万5千分1地形図の一図葉内の経緯度の値を、日本測地系から世界測地系に簡易に変換するための数値を格納した CSV 形式のファイルです。「TKY2JGD」で使用している座標変換パラメータファイル“TKY2JGD.par”を元に作成しました。数値地図(地図画像)表示ソフト(Ver3.1以降)及び管理ファイル変換ソフトにおいて使用します。ファイル名は、25\_2000.PRM で、項目とその内容は次のとおりです。

【数値地図 25000 (地図画像) 座標変換用図葉代表パラメータファイルフォーマット】

[ファイル名: 25\_2000.PRM, ファイル形式: CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項目	内容	
ヘッダ部	2行。パラメータファイルの名称とバージョン。各フィールドの項目名。 (例) DIGITAL MAP 25000(MAP IMAGE)PARAMETER Ver.1.1.,[CR+LF] 2ndMeshCode,dB,dL[CR+LF]	
パラメータ部 (緯度差、経度差は秒単位。小数点以下3桁まで)	1行が2万5千分1地形図1面に対応	
	2ndMeshCode	2万5千分1地形図に対応する2次メッシュコード 例:362306
	upper leftdB	図郭四隅 <u>左上</u> 緯度差(世界測地系緯度-日本測地系緯度)例:11.562
	upper leftdL	図郭四隅 <u>左上</u> 経度差(世界測地系経度-日本測地系経度)例:-11.578
	lower leftdB	図郭四隅 <u>左下</u> 緯度差
	lower leftdL	図郭四隅 <u>左下</u> 経度差
	lower rightdB	図郭四隅 <u>右下</u> 緯度差
	lower rightdL	図郭四隅 <u>右下</u> 経度差
	upper rightdB	図郭四隅 <u>右上</u> 緯度差
	upper rightdL	図郭四隅 <u>右上</u> 経度差

	行末は [CR+LF]
--	-------------

- 注1)「TKY2JGD」は、従来の日本測地系(TokyoDatum)の座標値を、現在の世界測地系(JGD2000)の座標値に変換するプログラムです。
- 注2)本パラメータは、2万5千分1地形図単位の世界測地系による経緯度の値を簡易的に計算するためのものです。より正確に求める場合には、「TKY2JGD」をご使用ください。
- 注3)各パラメータ値共に秒単位小数点以下3桁となっておりますが、小数点以下の末尾が“0”の場合は表示を省略しています。(例：12.000 12, 12.300 12.3, 12.340 12.34 等)
- 注4)数値地図(地図画像)表示ソフト(Ver3.1以降)では、日本測地系による「数値地図25000(地図画像)」CD-ROMについても、世界測地系による経緯度の表示が可能となっております。これは、数値地図(地図画像)表示ソフトの内部処理で、日本測地系による管理ファイル(KANRI.CSV)の図郭四隅の経緯度に数値地図25000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル(25\_2000.PRM)のパラメータ値を加えることにより表示しているものです。
- 注5)日本測地系による「数値地図25000(地図画像)」CD-ROMの管理ファイル(KANRI.CSV)から世界測地系による管理ファイル(KANRI2K.CSV)を作成する場合は、「管理ファイル変換ソフト」(kanrconv.exe)を使用して下さい。

## 8. 磁針方位ファイルフォーマット

図葉ごとの磁針方位を1レコードとするCSV形式のファイルです。ファイル名は、MAGDEF.CSVです。この磁針方位値は、平成14年8月以前に刊行されたCDでは「1990.0年値 磁気偏角一覧図」によるデータ、平成14年10月以降に刊行されたCDでは「2000.0年値 磁気偏角一覧図」(国土地理院技術資料B・1-No.34)によるデータです。ただし、海上保安庁海洋情報部の資料による値を用いた地域については、備考欄に「\*W」と記しています。項目とその内容は次のとおりです。

### 【磁針方位ファイルフォーマット】

[ファイル名：MAGDEF.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目		内 容
2次メッシュコード		2万5千分1地形図図郭に相当 例：544020
図名(漢字)		2万5千分1地形図の図名(漢字)
号数		20万分1地勢図の名称に5万分1、2万5千分1地形図の番号を連記して表示 例：水戸7号-1
磁針方位西偏	度	当該地形図の磁針方位西偏
	分	
備考		例：*W

## 第2章 数値地図 50000 (地図画像) データファイル仕様説明書

### 1. 数値地図 50000 (地図画像) の概要

- (1) 「数値地図 50000 (地図画像)」の CD-ROM には、5 万分 1 地形図を 1 図葉ずつ画像データとして数値化 (1 画素 100 $\mu$ m) したファイル (以下、「図葉ファイル」という。) が格納されています。
- (2) 図葉ファイルは、8 色 (地図の黒い線、緑色の面、茶色の線、茶色の面等々に相当 ; 図葉ファイルフォーマット参照) に分かれており、各色 1 ビット、全体では 1 画素 8 ビット (1 バイト) で表現されています。
- (3) 図葉ファイルは、一般的な画像フォーマットである TIFF 形式のラスターデータですので、誰でも容易に扱えます。例えば、TIFF 形式の画像を取り扱うソフトにより、画像の加工、ワープロ文書への貼り付け等が行えます。
- (4) 1 枚の CD-ROM には、1~4 都府県の範囲 (ただし、北海道は CD-ROM4 枚で、北方四島は 1 枚で全体をカバーしています) の図葉ファイルが入っています。これは、1 枚の CD-ROM に収納できるファイル容量を勘案しながら、隣接する都府県をまとめて収納したものです。そのため、都府県の境界付近に存在する図葉については、同一の図葉ファイルが複数の CD-ROM に重複して収納されている場合があります。なお、北海道については、道内を 20 万分 1 地勢図の範囲で 4 分割していますので、CD-ROM 間で重複する図葉ファイルはありません。

### 2. ファイル構成

- (1) 「数値地図 50000 (地図画像)」表示ソフト (MAPDSP Ver4.1) 収録 CD-ROM のファイル構成は、次のようになっています。

¥	README.txt	(本 CD に関する注意)
	mapdsp41_setup.exe	(数値地図(地図画像)表示ソフト Ver.4.1 インストールファイル)
	mapdsp41_manual.pdf	(数値地図(地図画像)表示ソフト Ver.4.1 操作説明書)
	mapimage.pdf	(数値地図(地図画像)データファイル仕様説明書)
	vcredist_x86.exe	(Microsoft Visual C++ 2005 SP1 再頒布可能パッケージ(x86))
	kanrconv.pdf	(管理ファイル変換ソフト操作説明書)
	DATA	
	KANRI2K.CSV	(世界測地系による管理ファイル)
	KANRI.CSV	(日本測地系による管理ファイル)
	INDEX.CSV	(索引図ファイル)
	MAGDEF.CSV	(磁針方位ファイル)
	HANREL.TIF	(凡例ファイル; 一般地形図[北方四島フラグ "0"]用)
	HANREL4.TIF	(凡例ファイル; 北方四島[北方四島フラグ "1"]用、 「北方四島」「北海道 I」のみ収録)
	1 次メッシュ番号	*****.TIF (図葉ファイル)
	.	.
	.	.

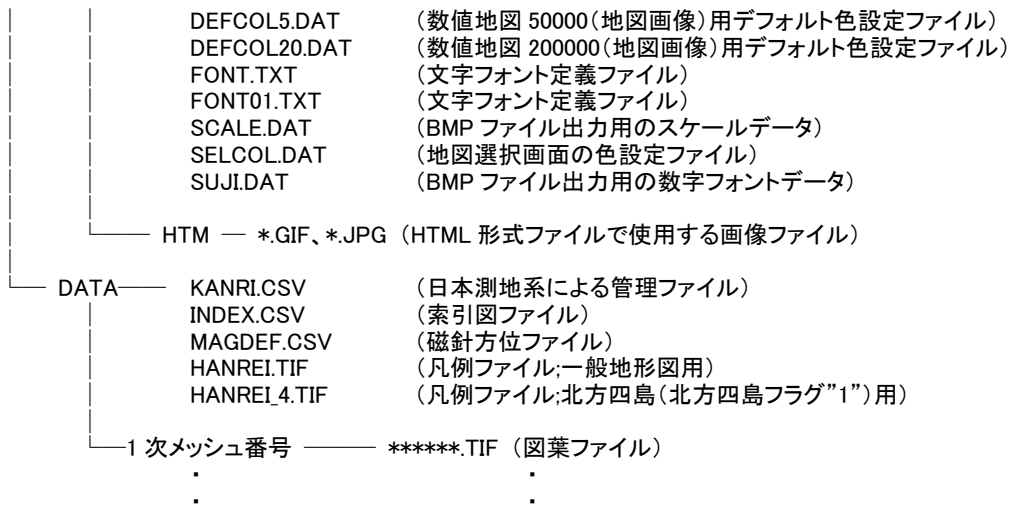
- (2) 世界測地系対応版の「数値地図 50000 (地図画像)」MAPDSP Ver3.1 収録 CD-ROM のファイル構成は、次のようになっています。

¥	SETUP.EXE	(インストーラー)
	SETUPINF.HTM	(インストール操作手順書)
	MAPDSP3—MAPDSP3.EXE	(数値地図(地図画像)表示ソフト 3.1)
	MANUAL.HTM	(数値地図(地図画像)表示ソフト 3.1 操作説明書)
	SUB1.HTM 等	(数値地図(地図画像)表示ソフト 3.1 オンラインヘルプ関連ファイル)
	UNINST.EXE	(数値地図(地図画像)アンインストーラー起動プログラム)
	UNJOB.EXE	(数値地図(地図画像)アンインストーラー本体)
	UNINSINF.HTM	(数値地図(地図画像)アンインストーラー操作説明書)
	KANRCONV.EXE	(管理ファイル変換ソフト)
	KCONVIN.HTM	(管理ファイル変換ソフト操作説明書)
	README.HTM	(数値地図(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ5.HTM	(数値地図 25000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ50.HTM	(数値地図 50000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ200.HTM	(数値地図 200000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	その他	(表示ソフト関連ファイル)
	TBL—25_2000.PRM	(数値地図 25000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	50_2000.PRM	(数値地図 50000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	200_2000.PRM	(数値地図 200000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	ALL.IND	(都道府県境界線インデックスデータ)
	ALL.POL	(都道府県境界線ポリゴンデータ)
	HOPPOU.DAT	(北方四島境界線データ)
	DEFCOL.DAT	(数値地図 25000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	DEFCOL5.DAT	(数値地図 50000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	DEFCOL20.DAT	(数値地図 200000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	FONT.TXT	(文字フォント定義ファイル)
	FONT01.TXT	(文字フォント定義ファイル)
	MAPDSP.INI	(数値地図(地図画像)表示ソフト 設定ファイル)
	SCALE.DAT	(BMP ファイル出力用のスケールデータ)
	SELCOL.DAT	(地図選択画面の色設定ファイル)
	SUJI.DAT	(BMP ファイル出力用の数字フォントデータ)
	HTM — *.GIF、*.JPG	(HTML 形式ファイルで使用する画像ファイル)
	DATA—KANRI2K.CSV	(世界測地系による管理ファイル)
	KANRI.CSV	(日本測地系による管理ファイル)
	INDEX.CSV	(索引図ファイル)
	MAGDEF.CSV	(磁針方位ファイル)
	HANREL.TIF	(凡例ファイル;一般地形図用)
	HANREL_4.TIF	(凡例ファイル;北方四島(北方四島フラグ"1")用)
	1 次メッシュ番号 ———— *****.TIF (図葉ファイル)	
	.	.
	.	.

(3) 日本測地系版の「数値地図 50000 ( 地図画像 )」MAPDSP Ver2.0 収録 CD-ROM のファイル構成は、次のようになっています。

¥	SETUP.EXE (インストーラー)	
	SETUPINF.HTM (インストール操作手順書)	
	MAPDSP2—MAPDSP2.EXE	(数値地図(地図画像)表示ソフト 2.0)
	MANUAL.HTM	(数値地図(地図画像)表示ソフト 2.0 操作説明書)
	SUB1.HTM 等	(数値地図(地図画像)表示ソフト 2.0 オンラインヘルプ関連ファイル)
	UNINST.EXE	(数値地図(地図画像)アンインストーラー起動プログラム)
	UNINST0.EXE	(数値地図(地図画像)アンインストーラー本体)
	UNINSINF.HTM	(数値地図(地図画像)アンインストーラー操作説明書)
	README.HTM	(数値地図(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ25.HTM	(数値地図 25000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ50.HTM	(数値地図 50000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ200.HTM	(数値地図 200000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	その他	(表示ソフト関連ファイル)
	TBL—ALL.IND	(都道府県境界線インデックスデータ)
	ALL.POL	(都道府県境界線ポリゴンデータ)
	HOPPOU.DAT	(北方四島境界線データ)
	DEFCOL.DAT	(数値地図 25000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)





### 3. 図葉ファイルフォーマット

#### (1) 概要

5 万分 1 地形図 1 面が図葉ファイルとして 1 つの TIFF ファイルとなっています。画像データは、図郭左上隅から左方に概ね 8.0 mm および上方に 7.0mm の地点と図郭右下隅から右方および下方に概ね 8.0mm の地点を結ぶ線を対角線とし、上辺及び下辺と平行な辺を含む長方形となっています(ただし、延伸図の場合は、図を含む範囲を適宜設定しています)。したがって、地形図の上辺及び下辺は、TIFF ファイル内の画像データのピクセル方向と概ね一致しています。

#### (2) TIFF ファイルの構造

図葉ファイルは、PackBits 圧縮された TIFF (Revision5.0 以上) ファイルです。1 ピクセル 8 ビットで表現されたパレットカラー画像であり、各ビットが 5 万 1 地形図の各版(通常は、全部で 8 版)に対応しています。各ピクセルにおいて、その版に画線があれば"1"、なければ"0"となっています。版とビット位置の関係は、次のようになっています。

#### 【版とビット位置、表示色および内容の関係】

ビット	版名	既定の表示色	標準的な内容	
上位ビット	0	注記	黒	居住地名や人工物・自然物等の名称、または建物記号等
	1	注記マスク	白	注記版と墨版が重なりあう箇所では墨版を隠す
	2	墨	灰色	道路、鉄道、建物、境界等
	3	藍	青色	水涯線、水田等
	4	褐	暗茶色	等高線、がけ、土堤、温室・畜舎・タンク等
	5	藍マスク	水色	河川水面、海水面、湖水面
下位ビット	6	褐マスク	黄色	国道
	7	緑+緑マスク	緑色	植生界・植生記号、樹木に囲まれた居住地、地下鉄

注 1) 地形図データの一部に注記版と墨版が合版され、注記が墨版に入っている場合や注記の下の道路、建物、境界線等の部分が欠落している場合があります。これは、5 万分 1 地形図において同色での表現となる墨版と注記版を合版した従来の作業工程に起因するものであり、一定時期の作業図葉に発生しています。

注 2) 北方四島の図葉ファイル(42 図葉)については、通常の 5 万 1 地形図とは図式及び表示内容が異なり、各版に以下の情報を収録しています。(下表参照)

褐版：基図情報（主として大正 6 年式地形図図式による大正 11 年測量、平成 3 年資料修正 5 万分 1 地形図）

墨版：平成 4 年資料修正として、その上に地球観測衛星スポット 1 号及びランドサット 5 号による昭和 63 年 12 月から平成 2 年 10 月観測（図葉毎に観測日の画像は異なります。また現地調査は行っていません。）の画像上で判読できた道路、建物及び飛行場

緑マスク版：大規模な改変地（地形又は植生を人工的に変化させた土地。紙地図では墨の網点）

藍マスク版：水面

なお、基図の水面と藍マスク版で表示した水面との間には、基図の測量誤差、経年変化等により相違が見られる場合があります。

#### 【北方四島の図葉ファイルの版とビット位置、表示色および内容の関係】







ビット	版名	既定の表示色	内容
上位ビット . . . . . .	0 未使用		
	1 未使用		
	2 墨	灰色	道路、建物、飛行場（平成 4 年資料修正：衛星画像による）
	3 未使用		
	4 褐	暗茶色	基図情報（大正 11 年測量、平成 3 年資料修正地形図）
	5 藍マスク	水色	水面（平成 4 年資料修正：衛星画像による）
	6 未使用		
下位ビット	7 緑マスク	緑色	大規模な改変地（平成 4 年資料修正：衛星画像による）





TIFF ファイルの 3 レベルの階層については「数値地図 25000(地図画像)データファイル仕様説明書」の「3.図葉ファイルフォーマット - (2)TIFF ファイルの構造 - TIFF ファイルの階層」を参照のこと。

#### (3) カラーパレットの初期設定

カラーパレットは、画像データが 8 ビットで表現されているので、0 から 255 までのコードに対し、R,G,B の値を指定しています。この値は、TIFF のフォーマットにしたがい、2 バイトで表現しています。初期設定では、上位ビットにある版を優先しています。各版の色指定は、次のとおりです。

【カラーパレットの初期設定】

4色刷印刷図発行地域				
版名	表示色	R	G	B
注記		0	0	0
注記マスク		65535	65535	65535
墨版		32768	32768	32768
藍版		0	0	65535
褐版		32768	0	0
藍マスク		0	65535	65535
褐マスク		65535	65535	0
緑+緑マスク		0	65535	0

北方四島				
版名	表示色	R	G	B
墨		32768	32768	32768
褐		32768	0	0
藍マスク		0	65535	65535
緑		0	65535	0

(4) PackBits 圧縮法

PackBits 圧縮法については「数値地図 25000 (地図画像) データファイル仕様説明書」の「3. 図葉ファイルフォーマット - (4)PackBits 圧縮法」を参照のこと。

4. 世界測地系による管理ファイルフォーマット

図葉ごとの図歴、世界測地系による図郭四隅の経緯度、UTM 座標、ピクセル・ライン番号等を 1 レコードとする CSV 形式のファイルです。ファイル名は、KANRI2K.CSV で、項目とその内容は次のとおりです。

【世界測地系による管理ファイルフォーマット】

[ファイル名：KANRI2K.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項目	内容
ファイル名	通常は以下の方式で決定した 2 次メッシュが記述されている。 5 万分 1 地形図を図郭線の縦横それぞれの長さの 1/2 の点を結んだ線で 4 分割し、その左下の区画が含む 2 次メッシュコードの中で最も面積の大きいコードを割り当てる。
図名(漢字)	5 万分 1 地形図の図名 (漢字)
図名(よみ)	5 万分 1 地形図の図名 (ひらがな)
地形図コード	100 万分 1 日本、20 万分 1 地勢図、5 万分 1 地形図の番号を表示
号数	20 万分 1 地勢図の名称に 5 万分 1 地形図の番号を表示
北方四島フラグ	北方四島を示すフラグ 1 : 北方四島の図葉 (平成 4 年資料修正・多面体図法) 0 : 上記を除く図葉
測量	当該 5 万分 1 地形図がはじめて作成された年

編集			当該 5 万分 1 地形図が 2 万 5 千分 1 地形図から編集された最新の編集年
修正			当該 5 万分 1 地形図が修正された最新の年
要部修正			当該 5 万分 1 地形図が要部修正された最新の年
発行年月日			5 万分 1 地形図の発行年月日
図郭四隅経緯度	左上緯度	度	世界測地系による図郭四隅の緯度および経度
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
	左下緯度	度	
		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
右下緯度	度		
	分		
	秒		
右下経度	度		
	分		
	秒		
左上緯度	度		
	分		
	秒		
左上経度	度		
	分		
	秒		
図郭四隅 UTM (ピクセル単位)	左上	E	世界測地系による図郭四隅の UTM 座標 (E,N) をピクセル単位で表している。つまり、この値に 1 ピクセルに相当する地上距離を掛けると、通常の UTM 座標が得られる。但し、E の値は中央子午線上で "0" としている。 「北方四島フラグ」が "1" の北方四島の図葉については空欄。
		N	
	左下	E	
		N	
	右下	E	
		N	
	右上	E	
		N	

図郭四隅 ファイル座標	左上	P	図郭四隅の画像データ上でのピクセル及びライン座標(P, L) 画像データの上辺及び下辺は、ピクセル方向と一致しているため、左上と 左下のLの値、右上と右下のLの値はそれぞれ概ね一致する。
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
	右上	P	
		L	
延伸フラグ		左上	延伸方向を表すフラグ。延伸方向を上、下、左、右、右上、左上、右下、 左下の8方向とし、延伸のある場合は"1"のフラグを、ない場合には"0"のフ ラグを立てる。
		上	
		右上	
		右	
		右下	
		下	
		左下	
		左	
図葉ファイル作成日		図葉ファイル(TIFF 画像)の作成年月日	
磁針方位西偏	度	当該 5 万分 1 地形図の磁針方位	
	分		
予備	予備 1	予備のためのフィールド。将来、フィールドを追加する必要がある場合 に使用する。	
	予備 2		
	予備 3		
	予備 4		
	予備 5		
	予備 6		
	予備 7		
	予備 8		
	予備 9		
	予備 10		

注 1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルの 2 次メッシュコードに".TIF" という拡張子を付けたもの  
となっています。(例: 5 万分 1 地形図「長崎」= 492906.TIF)

注 2) 図名(漢字)のうち、JIS 第 1 水準及び第 2 水準以外の漢字については、ひらがなで表記しています。(例:  
「にえ浦」(伊勢 7 号)、「とどヶ崎」(盛岡 3 号東)等)。また、旧字体の漢字については JIS 例示字形の都合  
上、新字体で表記しています。(例:「那覇」(那覇 15 号)の"覇"等)

注 3)「北方四島フラグ」が"1"の北方四島の図葉(42 図葉)について、実際の測量年次は「大正 11 年測量、平成

3年資料修正（行政区画等）、平成4年資料修正（衛星画像による）」ですが、管理ファイルでは、仕様の関係で便宜的に「測量フィールド:T11、修正フィールド:H03、要部修正フィールド:H04」と記述しております。

注4）多面体図法による北方四島の図葉（「北方四島フラグ」"1"の図葉）については、「図郭四隅 UTM(ピクセル単位)」の各フィールドは空欄です。

注5）「八丈所属諸島」(20万分1地勢図「八丈島」の"分図")は、異なる5つの地域の島を便宜的に作成した図郭内に分図として寄せ集めているため、図郭四隅に対応する経緯度数値が存在しませんが、データ管理上、便宜的に「図郭四隅経緯度」及び「図郭四隅 UTM(ピクセル単位)」の各フィールドには架空の数値を格納しています。よって、数値地図(地図画像)表示ソフトにおける地形図情報表示で「図郭四隅経緯度数値」に表示される数値は有効な数値ではありません。また、計測メニューの各機能(概略経緯度、概略距離、概略面積)及び表示メニューの「縮尺目盛り」「世界測地系グリッド」「磁針方位線描画」機能は利用できません。

注6）数値地図(地図画像)表示ソフトにおける、計測メニューの「概略経緯度」及び表示メニューの「世界測地系グリッド」は、図郭四隅ファイル座標を基準に計算しています。そのため、図葉ファイル中に分図が存在する場合、分図の図郭内での「概略経緯度」及び「世界測地系グリッド」は有効な数値ではありません。また、分図の位置関係を示す位置図の図郭内については、計測メニューの各機能(概略経緯度、概略距離、概略面積)及び表示メニューの「縮尺目盛り」「世界測地系グリッド」に示される数値は有効な数値ではありません。

## 5. 日本測地系による管理ファイルフォーマット

日本測地系による管理ファイルは、世界測地系移行後の暫定期間、参考のため添付するファイルであり、将来的には添付を停止する予定ですので、ご注意ください。日本測地系による管理ファイルは、図葉ごとの図歴、日本測地系による図郭四隅の経緯度、UTM 座標、ピクセル・ライン番号等を1レコードとする CSV 形式のファイルです。ファイル名は、KANRI.CSV で、項目とその内容は次のとおりです。

### 【日本測地系による管理ファイルフォーマット】

[ファイル名：KANRI.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目	内 容
ファイル名	通常は以下の方式で決定した2次メッシュが記述されている。 5万分1地形図を、図郭線の縦横それぞれの長さの1/2の点を結んだ線で4分割し、その左下の区画が含む2次メッシュコードの中で最も面積の大きいコードを割り当てる。
図名(漢字)	5万分1地形図の図名(漢字)
図名(よみ)	5万分1地形図の図名(ひらがな)
地形図コード	100万分1日本、20万分1地勢図、5万分1地形図の番号を連記して表示
号数	20万分1地勢図の名称に5万分1地形図の番号を表示
北方四島フラグ	北方四島を示すフラグ 1：北方四島の図葉(平成4年資料修正・多面体図法)

	0：上記を除く図葉		
測量	当該5万分1地形図がはじめて作成された年		
編集	当該5万分1地形図が2万5千分1地形図から編集された最新の年		
修正	当該5万分1地形図が修正された最新の年		
要部修正	当該5万分1地形図が要部修正された最新の年		
発行年月日	5万分1地形図の発行年月日		
図郭四隅 経緯度	左上緯度	度 分 秒	日本測地系による図郭四隅の緯度および経度
		度 分 秒	
	左上経度	度 分 秒	
		度 分 秒	
	左下緯度	度 分 秒	
		度 分 秒	
	左下経度	度 分 秒	
		度 分 秒	
	右下緯度	度 分 秒	
		度 分 秒	
	右下経度	度 分 秒	
		度 分 秒	
	左上緯度	度 分 秒	
		度 分 秒	
	左上経度	度 分 秒	
		度 分 秒	
図郭四隅 UTM (ピクセル 単位)	左上	E N	日本測地系による図郭四隅のUTM座標(E,N)をピクセル単位で表している。 つまり、この値に1ピクセルに相当する地上距離を掛けると、通常のUTM座標 が得られる。但し、Eの値は中央子午線上で"0"としている。 「北方四島フラグ」が"1"の北方四島の図葉については空欄。
		E N	
	左下	E N	
		E N	
	右下	E N	
		E N	

	右上	E	
		N	
図郭四隅ファイル座標	左上	P	図郭四隅の画像データ上でのピクセル及びライン座標(P, L) 画像データの上辺及び下辺は、ピクセル方向と一致しているため、左上と右下のLの値、右上と右下のLの値はそれぞれ概ね一致する。
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
	右上	P	
		L	
延伸フラグ	左上	延伸方向を表すフラグ。延伸方向を上、下、左、右、右上、左上、右下、左下の8方向とし、延伸のある場合は"1"のフラグを、ない場合には"0"のフラグを立てる。	
	上		
	右上		
	右		
	右下		
	下		
	左下		
	左		

注1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルの2次メッシュコードに".TIF"という拡張子を付けたものとなっています。(例: 5万分1地形図「長崎」= 492906.TIF)

注2) 図名(漢字)のうち、JIS第1水準及び第2水準以外の漢字については、ひらがなで表記しています。(例: 「にえ浦」(伊勢7号)、「とどヶ崎」(盛岡3号東)等)。また、旧字体の漢字についてはJIS例示字形の都合上、新字体で表記しています。(例: 「那覇」(那覇15号)の"覇"等)

注3) 「北方四島フラグ」が"1"の北方四島の図葉(42図葉)について、実際の測量年次は「大正11年測量、平成3年資料修正(行政区画等)、平成4年資料修正(衛星画像による)」ですが、管理ファイルでは、仕様の関係で便宜的に「測量フィールド:T11、修正フィールド:H03、要部修正フィールド:H04」と記述しております。

注4) 多面体図法による北方四島の図葉(「北方四島フラグ」"1"の図葉)については、「図郭四隅 UTM(ピクセル単位)」の各フィールドは空欄です

注5) 「八丈所属諸島」(20万分1地勢図「八丈島」の"分図")は、異なる5つの地域の島を便宜的に作成した図郭内に分図として寄せ集めているため、図郭四隅に対応する経緯度数値が存在しませんが、データ管理上、便宜的に「図郭四隅経緯度」及び「図郭四隅 UTM(ピクセル単位)」の各フィールドには架空の数値を格納しています。よって、数値地図(地図画像)表示ソフトにおける地形図情報表示で「図郭四隅経緯度数値」に表示される数値は有効な数値ではありません。また、計測メニューの各機能(概略経緯度、概略距離、概略面積)及び表示メニューの「縮尺目盛り」「世界測地系グリッド」「磁針方位線描画」機能は利用できません。

注6) 数値地図(地図画像)表示ソフトにおける、計測メニューの「概略経緯度」及び表示メニューの「世界測地系グリッド」は、図郭四隅ファイル座標を基準に計算しています。そのため、図葉ファイル中に分図が存在



する場合、分図の図郭内での「概略経緯度」及び「世界測地系グリッド」は有効な数値ではありません。  
 また、分図の位置関係を示す位置図の図郭内については、計測メニューの各機能（概略経緯度、概略距離、概略面積）及び表示メニューの「縮尺目盛り」「世界測地系グリッド」に示される数値は有効な数値ではありません。

## 6. 数値地図 50000（地図画像）座標変換用図葉代表パラメータファイルフォーマット

数値地図 50000（地図画像）座標変換用図葉代表パラメータファイルは、5 万分 1 地形図の一図葉内の経緯度の値を、日本測地系から世界測地系に簡易に変換するための数値を格納した CSV 形式のファイルです。「TKY2JGD」で使用している座標変換パラメータファイル“TKY2JGD.par”を元に作成しました。数値地図（地図画像）表示ソフト（Ver3.1 以降）及び管理ファイル変換ソフトにおいて使用します。ファイル名は、50\_2000.PRM で、項目とその内容は次のとおりです。

### 【数値地図 50000（地図画像）座標変換用図葉代表パラメータファイルフォーマット】

[ファイル名：50\_2000.PRM, ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目	内 容	
ヘッダ部	2 行。パラメータファイルの名称とバージョン。各フィールドの項目名。 例： DIGITAL MAP 50000(MAP IMAGE)PARAMETER Ver.1.2,,,,,,[CR+LF] 2ndMeshCode,upper leftdB,upper leftdL,lower leftdB,lower leftdL,lower rightdB,lower rightdL,upper rightdB,upper rightdL[CR+LF]	
パラメータ部	1 行が 5 万分 1 地形図 1 面に対応	
（緯度差、経度差は秒単位。小数点以下 3 桁まで）	2ndMeshCode	5 万分 1 地形図に対応する 2 次メッシュコード 例：533944
	upper leftdB	図郭四隅左上緯度差（世界測地系緯度 - 日本測地系緯度）例：11.562
	upper leftdL	図郭四隅左上経度差（世界測地系経度 - 日本測地系経度）例：-11.578
	lower leftdB	図郭四隅左下緯度差
	lower leftdL	図郭四隅左下経度差
	lower rightdB	図郭四隅右下緯度差
	lower rightdL	図郭四隅右下経度差
	upper rightdB	図郭四隅右上緯度差
	upper rightdL	図郭四隅右上経度差
		行末は [CR+LF]

注 1)「TKY2JGD」は、従来の日本測地系(TokyoDatum)の座標値を、現在の世界測地系(JGD2000)の座標値に変換するプログラムです。

注 2) 本パラメータは、5 万分 1 地形図単位の世界測地系による経緯度の値を簡易的に計算するためのものです。

より正確に求める場合には、「TKY2JGD」をご使用ください。

注3) 各パラメータ値共に秒単位小数点以下3桁となっていますが、小数点以下の末尾が"0"の場合は表示を省略しています。(例: 12.000 12, 12.300 12.3, 12.340 12.34 等)

注4) 数値地図(地図画像)表示ソフト(Ver3.1以降)では、日本測地系による「数値地図50000(地図画像)」CD-ROMについても、世界測地系による経緯度の表示が可能となっています。これは、数値地図(地図画像)表示ソフトの内部処理で、日本測地系による管理ファイル(KANRI.CSV)の図郭四隅の経緯度に数値地図50000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル(50\_2000.PRM)のパラメータ値を加えることにより表示しているものです。

注5) 日本測地系による「数値地図50000(地図画像)」CD-ROMの管理ファイル(KANRI.CSV)から世界測地系による管理ファイル(KANRI2K.CSV)を作成する場合は、「管理ファイル変換ソフト」(kanrconv.exe)を使用して下さい。

## 7. 磁針方位ファイルフォーマット

図葉ごとの磁針方位を1レコードとするCSV形式のファイルです。ファイル名は、MAGDEF.CSVです。この磁針方位値は、平成15年以前に刊行されたCDでは「1990.0年値 磁気偏角一覧図」によるデータ、平成16年以降に刊行されたCDでは「2000.0年値 磁気偏角一覧図」(国土地理院技術資料B・1-No.34)によるデータです。ただし、海上保安庁海洋情報部の資料による値を用いた地域については、備考欄に「\*W」と記しています。項目とその内容は次のとおりです。

### 【磁針方位ファイルフォーマット】

[ファイル名: MAGDEF.CSV; ファイル形式: CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項目	内容	
2次メッシュコード	5万分1地形図を、図郭線の縦横それぞれの長さの1/2の点を結んだ線で4分割し、その左下の区画が含む2次メッシュコードの中で最も面積の大きいコードを割り当てる。	
図名(漢字)	5万分1地形図の図名(漢字)	
号数	20万分1地勢図の名称に5万分1地形図の番号を表示	
磁針方位西偏	度	当該地形図の磁針方位西偏
	分	
備考	例: *W	

また、同じフォーマットにより全国を網羅した磁針方位ファイル(MAG50000)も掲載しています。これは、画像中に磁針方位線を描画するために使用するデータです。

## 第3章 数値地図 200000 (地図画像) データファイル仕様説明書

### 1. 数値地図 200000 (地図画像) の概要

- (1) 「数値地図 200000 (地図画像)」の CD-ROM には、20 万分 1 地勢図を 1 図葉ずつ画像データとして数値化 (1 画素 100 μm) したファイルが格納されています。
- (2) 「数値地図 200000 (地図画像)」の画像データは、注記、道路、市街地、地形等を TIFF 形式で収録したファイル (以下、「図葉ファイル」という。) と、ぼかし版を JPEG 形式のファイルで収録したファイル (以下、「陰影図ファイル」という。) の 2 種類で構成されています。
- (3) 図葉ファイルは、8 色 (図葉ファイルフォーマット参照) に分かれており、各色 1 ビット、全体では 1 画素 8 ビット (1 バイト) で表現されています。
- (4) 図葉ファイルは、一般的な画像フォーマットである TIFF 形式のラスターデータですので、誰でも容易に扱えます。例えば、TIFF 形式の画像を取り扱うソフトにより、画像の加工、ワープロ文書への貼り付け等が行えます。
- (5) 陰影図ファイルについては、表示ソフトを添付していませんので、画像表示ソフト及びインターネットブラウザ等、JPEG 形式データが取り扱い可能なソフトをご利用下さい。
- (6) 平成 20 年以降に刊行される数値地図 200000 (地図画像) CD-ROM には、「20 万分 1 地勢図図式適用規程の運用」により作成された新しい図郭の地勢図 (以下、「新図郭地勢図」という) の場合、新図郭地勢図のデータを格納し、それ以前の地勢図 (以下、「旧図郭地勢図」という) は、旧図郭地勢図のデータを格納しています。なお、Ver4.0 以前の「数値地図 (地図画像) 表示ソフト」では、新図郭地勢図の表示が出来ません。
- (7) 新図郭地勢図では、分図・延伸分図の計測が可能となっています。

### 2. ファイル構成

- (1) 新旧図郭地勢図が混在する「数値地図 200000 (地図画像)」表示ソフト (MAPDSP Ver.4.1) 収録 CD-ROM のファイル構成は、次のようになっています。

¥	README.txt	(本 CD に関する注意)
	mapdsp41_setup.exe	(数値地図 (地図画像) 表示ソフト Ver.4.1 インストールファイル)
	mapdsp41_manual.pdf	(数値地図 (地図画像) 表示ソフト Ver.4.1 操作説明書)
	mapimage.pdf	(数値地図 (地図画像) データファイル仕様説明書)
	vc redistrib_x86.exe	(Microsoft Visual C++ 2005 SP1 再頒布可能パッケージ(x86))
	kanrconv.pdf	(管理ファイル変換ソフト操作説明書)
	DATA	
	KANRI2K.CSV	(旧図郭地勢図の管理ファイル;世界測地系)
	KANRI2KZ.CSV	(新図郭地勢図の管理ファイル;世界測地系)
	KANDAT2K.CSV	(全国版地勢図管理ファイル ;世界測地系/旧図郭単位)
	BLKAREA.DAT	(索引図管理ファイル)
	MAP**.DAT	(地域別索引図ファイル)
	****.TIF (図葉ファイル)	
	.	
	.	
	SHADE	
	****.JPG (陰影図ファイル)	
	.	
	.	

(2) 世界測地系対応「数値地図 200000(地図画像)」表示ソフト(MAPDSP Ver3.1)収録 CD-ROM のファイル構成は、次のようになっています。

¥	SETUP.EXE	(インストーラー)
	SETUPINF.HTM	(インストール操作手順書)
	MAPDSP3—MAPDSP3.EXE	(数値地図(地図画像)表示ソフト 3.1)
	MANUAL.HTM	(数値地図(地図画像)表示ソフト 3.1 操作説明書)
	SUB1.HTM 等	(数値地図(地図画像)表示ソフト 3.1 オンラインヘルプ関連ファイル)
	UNINST.EXE	(数値地図(地図画像)アンインストーラー起動プログラム)
	UNJOB.EXE	(数値地図(地図画像)アンインストーラー本体)
	UNINSINF.HTM	(数値地図(地図画像)アンインストーラー操作説明書)
	KANRCONV.EXE	(管理ファイル変換ソフト)
	KCONVIN.HTM	(管理ファイル変換ソフト操作説明書)
	README.HTM	(数値地図(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ25.HTM	(数値地図 25000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ50.HTM	(数値地図 50000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	READ200.HTM	(数値地図 200000(地図画像)データファイル仕様説明書)
	その他	(表示ソフト関連ファイル)
	TBL—25_2000.PRM	(数値地図 25000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	50_2000.PRM	(数値地図 50000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	200_2000.PRM	(数値地図 200000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル)
	ALL.IND	(都道府県境界線インデックスデータ)
	ALL.POL	(都道府県境界線ポリゴンデータ)
	HOPPOU.DAT	(北方四島境界線データ)
	DEFCOL.DAT	(数値地図 25000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	DEFCOL5.DAT	(数値地図 50000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	DEFCOL20.DAT	(数値地図 200000(地図画像)用デフォルト色設定ファイル)
	FONT.TXT	(文字フォント定義ファイル)
	FONT01.TXT	(文字フォント定義ファイル)
	MAPDSP.INI	(数値地図(地図画像)表示ソフト 設定ファイル)
	SCALE.DAT	(BMP ファイル出力用のスケールデータ)
	SELCOL.DAT	(地図選択画面の色設定ファイル)
	SUJI.DAT	(BMP ファイル出力用の数字フォントデータ)
	HTM — *.GIF、*.JPG	(HTML 形式ファイルで使用する画像ファイル)
	DATA — KANRI2K.CSV	(世界測地系による管理ファイル; 当該 CD-ROM 用)
	KANDAT2K.CSV	(世界測地系による管理ファイル; 全国用)
	KANRI.CSV	(日本測地系による管理ファイル; 当該 CD-ROM 用)
	KANRIDAT.CSV	(日本測地系による管理ファイル; 全国用)
	HANREL.TIF	(凡例ファイル)
	MAGDEF.CSV	(磁針方位ファイル)
	BLKAREA.DAT	(索引図管理ファイル)
	MAP**.DAT	(地域別索引図ファイル)
	****.TIF (図葉ファイル)	
	.	
	.	
	SHADE—****.JPG (陰影図ファイル)	
	.	
	.	

### 3. 図葉ファイルフォーマット


#### (1) 概要

20 万分 1 地勢図 1 面が図葉ファイルとして 1 つの TIFF ファイルとなっています。画像データは、図郭左上隅から左方及び上方に概ね 10.0mm の地点と図郭右下隅から右方及び下方に概ね 10.0mm の地点を結ぶ線を対角線とし、上辺と平行な辺を含む長方形となっています。(ただし、延伸図の場合は、図を含む範囲を適宜設定しています。)

(2) TIFF ファイルの構造

図葉ファイルは、PackBits 圧縮された TIFF ( Revision5.0 以上 ) ファイルです。  
 1 ピクセル 8 ビットで表現されたパレットカラー画像であり、各ビットが 20 万分 1 地勢図の各版に対応しています。各ピクセルにおいて、その版に画線があれば”1”、なければ”0”となっています。版とビット位置の関係は、次のようになっています。

【版とビット位置、表示色および内容の関係】

ビット	版名	既定の表示色	標準的な内容
上位ビット . . . . .	0	注記	黒  居住地名、自然物等の名称、または、建物記号等
	1	墨	灰色  鉄道、行政界
	2	赤	赤色  市街地、国道番号
	3	褐	褐色  道路、橋及び高架部、建物、堤防、がけ、岩礁等
	4	緑	緑色  等高線、畑
	5	藍	青色  水涯線、水田、湿地
下位ビット	6	藍マスク	水色  河川水面、海水面、湖水面
	7	未使用	

TIFF ファイルの 3 レベルの階層については「数値地図 25000 ( 地図画像 ) データファイル仕様説明書」の「3.図葉ファイルフォーマット - (2)TIFF ファイルの構造 - TIFF ファイルの階層」を参照のこと。

(3) カラーパレットの初期設定

カラーパレットは、画像データが 8 ビットで表現されているので、0 から 255 までのコードに対し、R,G,B の値を指定しています。この値は、TIFF のフォーマットにしたがい、2 バイトで表現しています。初期設定では、上位ビットにある版を優先しています。各版の色指定は、次のとおりです。

【カラーパレットの初期設定】

ビット	版名	表示色	R	G	B	
上位ビット . . . . .	0	注記版		0	0	0
	1	墨版		32768	32768	32768
	2	赤版		65535	0	0
	3	褐版		65535	32768	0
	4	緑版		0	65535	0
	5	藍版		0	0	65535
下位ビット	6	藍マスク版		0	65535	65535
	7	未使用		65535	65535	65535

(4) PackBits 圧縮法

PackBits 圧縮法については「数値地図 25000 (地図画像) データファイル仕様説明書」の「3. 図葉ファイルフォーマット - (4)PackBits 圧縮法」を参照のこと。

4. 世界測地系による管理ファイルフォーマット

(1) 新図郭地勢図の管理ファイルフォーマット

図葉ごとの図歴、世界測地系区画 (世界測地系による経度 1°, 緯度 40'の正規図郭) による四隅の経緯度、新図郭地勢図による図郭四隅の経緯度、ピクセル・ライン番号等を 1レコードとする CSV 形式のファイルです。ファイル名は KANRI2KZ.CSV で、項目とその内容は次のとおりです。

【新図郭地勢図の管理ファイルフォーマット】

[ファイル名 : KANRI2KZ.CSV; ファイル形式 : CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目			内 容
ファイル名			通常は 1 次メッシュコードが記述されており、非正規図郭の場合は、図郭に係るいずれかのコードを割り当てている。
本図・分図フラグ			1 : 本図 (分図あり) 又は本図 (分図なし) の場合 0 : 分図又は延伸分図の場合
分図 No			延伸分図以外の分図に割り当てた番号。分図を持たない図では空欄
延伸分図 No			延伸分図について割り当てた番号。分図を持たない図では空欄 (本図の区画に重複もしくは接する分図を「延伸分図」という)
図名(漢字)			20 万分 1 地勢図の図名 (漢字) / 当該地勢図の分図名 (漢字)
図名(よみ)			20 万分 1 地勢図の図名 (ひらがな) / 当該地勢図の分図名 (ひらがな)
地勢図コード			100 万分 1 日本、20 万分 1 地勢図の番号を連記して表示
編集			20 万分 1 地勢図が編集された最新の年
修正			20 万分 1 地勢図が修正された最新の年
要部修正			20 万分 1 地勢図が要部修正された最新の年
発行年月日			20 万分 1 地勢図の発行年月日 (分図の場合は空欄)
分図の本図への 挿入先	左下緯度	度	本図に挿入された分図の図郭左下隅位置を、本図からみた緯度および経度で示したもの (世界測地系) (分図以外については、すべて"0")
		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
図郭四隅経緯度	左上緯度	度	世界測地系による図郭四隅の緯度および経度 (分図についても同様に記載)
		分	
		秒	

	左上経度	度 分 秒	
	左下緯度	度 分 秒	
	左下経度	度 分 秒	
	右下緯度	度 分 秒	
	右下経度	度 分 秒	
	右上緯度	度 分 秒	
	右上経度	度 分 秒	
図郭四隅 UTM (ピクセル単位)	左上	E N	世界測地系による図郭四隅の UTM 座標 (E,N) をピクセル単位で表している。E は基準となる経線方向を、N は緯線方向を表す。E の原点は中央子午線上で"0"、N の原点は緯度 0°で"0"としている。E,N の値に 1 ピクセルに相当する地上距離を掛けると、通常の UTM 座標が得られる (分図の場合は空欄)
	左下	E N	
	右下	E N	
	右上	E N	
図郭四隅 ファイル座標	左上	P L	図郭四隅の画像データ上でのピクセル (P:画像横方向、原点は画像左端を"0"としている) 及びライン座標 (L:画像縦方向、原点は画像上端を"0"としている) の個数で表したもの。(分図についても同様に記載)
	左下	P L	
	右下	P L	

	右上	P	
		L	
延伸フラグ	左上	延伸方向を表すフラグ。延伸方向を上、下、左、右、右上、左上、右下、左下の8方向とし、延伸のある場合は"1"のフラグを、ない場合には"0"のフラグを立てる。(分図の場合は空欄)	
	上		
	右上		
	右		
	右下		
	下		
	左下		
	左		
図葉ファイル作成日		図葉ファイル(TIFFフォーマットの地図画像ファイル)の作成年月日 (分図の場合は空欄)	
世界測地系区画 四隅経緯度	左上緯度	度	世界測地系区画四隅の緯度および経度 (分図の場合は空欄)
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
	左下緯度	度	
		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
	右下緯度	度	
		分	
		秒	
	右下経度	度	
		分	
		秒	
	右上緯度	度	
		分	
		秒	
	右上経度	度	
		分	
		秒	



世界測地系区画 四隅 UTM (ピクセル単位)	左上	E	世界測地系区画四隅の UTM 座標 (E,N) をピクセル単位で表している。 E は基準となる経線方向を、N は緯線方向を表す。E の原点は中央子午線 上で"0"、N の原点は緯度 0°で"0"としている。E,N の値に 1 ピクセルに相 当する地上距離を掛けると、通常の UTM 座標が得られる。 (分図の場合は空欄)
		N	
	左下	E	
		N	
	右下	E	
		N	
右上	E		
	N		
世界測地系区画 四隅ファイル 座標	左上	P	世界測地系区画四隅の画像データ上でのピクセル (P:画像横方向、原点は 画像左端を"0"としている) 及びライン座標 (L:画像縦方向、原点は画像 上端を"0"としている) の個数で表したもの。(分図についても同様に記載)
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
右上	P		
	L		

注 1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルの 1 次メッシュコードに".TIF" という拡張子を付けたものとな  
っています。(例: 20 万分 1 「長崎」 = 4929.TIF)

注 2) 旧図郭地勢図では数値地図 (地図画像) 表示ソフトにおいて、計測メニューの「概略経緯度」及び表示メ  
ニューの「世界測地系グリッド」を、図郭四隅ファイル座標を基準に計算しています。そのため、図葉ファ  
イル中に分図が存在する場合、分図の図郭内での「概略経緯度」及び「世界測地系グリッド」は有効な数値では  
ありません。また、分図の位置関係を示す位置図の図郭内については、計測メニューの各機能 (概略経緯度、  
概略距離、概略面積) 及び表示メニューの「縮尺目盛り」「世界測地系グリッド」に示される数値は有効な数  
値ではありません。

注 3) 延伸フラグは、図郭線の外側に地図記号が描画されている場合にフラグを立てていますが、都市の市街地  
と図郭が重複する場合、同一市街地を隣接する複数図葉の図郭線の外側に描画している場合があります。この  
ような場合は、延伸フラグは"0"となっています。

注 4) "KANRI2KZ.CSV"には、新図郭地勢図の日本測地系区画 (図上の赤い図郭線) の座標値が表記されてお  
りません。日本測地系区画の座標値を利用される場合は"KANDAT2K.CSV"をお使いください

注 5) Ver4.0 以前の「数値地図 (地図画像) 表示ソフト」では、"KANRI2KZ.CSV"の読み込みに対応していない  
ため、新図郭地勢図の図葉ファイルは表示出来ません。新図郭地勢図の図葉ファイルを利用する場合は「数値  
地図 (地図画像) 表示ソフト Ver4.1」をお使いください。

## (2) 旧図郭地勢図及び全国版の管理ファイルフォーマット

図葉ごとの図歴、世界測地系による図郭四隅の経緯度、ピクセル・ライン番号等を 1 レコード  
とする CSV 形式のファイルです。ファイル名は、CD-ROM に収録されている旧図郭地勢図の管  
理ファイルは KANRI2K.CSV、全国版地勢図管理ファイルは KANDAT2K.CSV で、項目とその

内容は次のとおりです。

【旧図郭地勢図の管理ファイルフォーマット】

[ファイル名：KANRI2K.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

【全国版地勢図管理ファイルフォーマット】

[ファイル名：KANDAT2K.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目		内 容	
ファイル名		通常は1次メッシュコードが記述されており、非正規図郭の場合は図郭に係る いずれかのコードを割り当てている。	
図名(漢字)		20万分1地勢図の図名(漢字)	
図名(よみ)		20万分1地勢図の図名(ひらがな)	
地勢図コード		100万分1日本、20万分1地勢図の番号を連記して表示	
編集		20万分1地勢図が編集された最新の年	
修正		20万分1地勢図が修正された最新の年	
要部修正		20万分1地勢図が要部修正された最新の年	
発行年月日		20万分1地勢図の発行年月日	
図郭四隅 経緯度	左上緯度	度	“KANRI2K.CSV”及び“KANDAT2K.CSV”のうち旧図郭地勢図：世界測地系に よる図郭四隅の緯度および経度 “KANDAT2K.CSV”のうち新図郭地勢図：世界測地系による日本測地区画の緯 度および経度
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
	左下緯度	度	
		分	
		秒	
	左下経度	度	
		分	
		秒	
右下緯度	度		
	分		
	秒		
右下経度	度		
	分		
	秒		
右上緯度	度		
	分		
	秒		

	右上経度	度	
		分	
		秒	
図郭四隅 UTM 座標 (ピクセル単位)	左上	E	“KANRI2K.CSV”及び“KANDAT2K.CSV”のうち旧図郭地勢図：世界測地系による図郭四隅の UTM 座標(E,N) “KANDAT2K.CSV”のうち新図郭地勢図：世界測地系による日本測地区画の UTM 座標(E,N) 表記はピクセル単位。E は基準となる経線方向を、N は緯線方向を表す。 E の原点は中央子午線上で 0 (原点より東が正、西が負)、N の原点は緯度 0° で 0 (原点より北が正) としている。 E,N の値に 1 ピクセルに相当する地上距離を掛けると、通常の UTM 座標が得られる。
		N	
	左下	E	
		N	
	右下	E	
		N	
	右上	E	
		N	
図郭四隅 ファイル座標	左上	P	“KANRI2K.CSV”及び“KANDAT2K.CSV”のうち旧図郭地勢図：図郭四隅のピクセル及びライン座標 “KANDAT2K.CSV”のうち新図郭地勢図：日本測地区画のピクセル及びライン座標 図郭四隅または日本測地系区画の画像データ上でのピクセル (P:画像横方向、原点は画像左端が 0) 及びライン座標 (L:画像縦方向、原点は画像上端が 0) の個数で表したものを。
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
	右上	P	
		L	
図葉ファイル作成日		図葉ファイル (TIFF フォーマットの地図画像ファイル) の作成年月日	
予 備	予備 1	予備のためのフィールド。将来、フィールドを追加する必要があった場合に使用する。(現在未使用)	
	予備 2		
	予備 3		
	予備 4		
	予備 5		
	予備 6		
	予備 7		
	予備 8		
	予備 9		
新旧図郭地勢図判別フラグ		旧図郭地勢図：全角アスタリスク(*) 新図郭地勢図 (KANDAT2K.CSV のみ)：全角コメ印( )	

注 1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルの 1 次メッシュコードに“.TIF”という拡張子を付けたものとなっています。(例：20 万分 1 「長崎」= 4929.TIF)

注 2) 旧図郭地勢図では数値地図 (地図画像) 表示ソフトにおいて、計測メニューの「概略経緯度」及び表示メニューの「世界測地系グリッド」を、図郭四隅ファイル座標を基準に計算しています。そのため、図葉ファイ

ル中に分図が存在する場合、分図の図郭内の「概略経緯度」及び「世界測地系グリッド」は有効な数値ではありません。また、分図の位置関係を示す位置図の図郭内については、計測メニューの各機能（概略経緯度、概略距離、概略面積）及び表示メニューの「縮尺目盛り」「世界測地系グリッド」に示される数値は有効な数値ではありません。

注3) "KANDAT2K.CSV"において、新図郭地勢図のレコードには日本測地系区画（図上の赤い図郭線）の座標値のみが表記されております。世界測地系区画（図上の黒い図郭線）および図郭四隅の座標値を利用される場合は"KANRI2KZ.CSV"をお使いください。

## 5. 日本測地系による管理ファイルフォーマット

日本測地系による管理ファイルは、世界測地系移行後の暫定期間、参考のため添付するファイルであり、将来的には添付を停止する予定ですので、ご注意下さい。日本測地系による管理ファイルは、図葉ごとの図歴、日本測地系による図郭四隅の経緯度、ピクセル・ライン番号等を1レコードとする CSV 形式のファイルです。ファイル名は、KANRI.CSV で、項目とその内容は次のとおりです。

### 【日本測地系の管理ファイルフォーマット】

[ファイル名：KANRI.CSV; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目		内 容	
1次メッシュコード		通常は1次メッシュコードが記述されており、非正規図郭の場合は、図郭に係るどれかのコードを割り当てている。	
図名(漢字)		20万分1地勢図の図名(漢字)	
図名(よみ)		20万分1地勢図の図名(ひらがな)	
地勢図コード		100万分1日本、20万分1地勢図の番号を連記して表示	
編集		20万分1地勢図が編集された最新の年	
修正		20万分1地勢図が修正された最新の年	
要部修正		20万分1地勢図が要部修正された最新の年	
発行年月日		20万分1地勢図の発行年月日	
図郭四隅経緯度	左上緯度	度	日本測地系によ図郭四隅の緯度および経度
		分	
		秒	
	左上経度	度	
		分	
		秒	
	左下緯度	度	
		分	
		秒	

	左下経度	度	
		分	
		秒	
	右下緯度	度	
		分	
		秒	
	右下経度	度	
		分	
		秒	
	右上緯度	度	
		分	
		秒	
右上経度	度		
	分		
	秒		
ダミーフィールド	ダミーフィールド 1	すべて"0"が記載	
	ダミーフィールド 2		
	ダミーフィールド 3		
	ダミーフィールド 4		
	ダミーフィールド 5		
	ダミーフィールド 6		
	ダミーフィールド 7		
	ダミーフィールド 8		
図郭四隅 ファイル座標	左上	P	図郭四隅の画像データ上でのピクセル及びライン座標(P, L)
		L	
	左下	P	
		L	
	右下	P	
		L	
	右上	P	
		L	

注 1) 図葉ファイルの名称は、該当する図葉ファイルの 1 次メッシュコードに".TIF"という拡張子を付けたものとなっています。(例: 20 万分 1 「長崎」 = 4929.TIF)

注 2) 数値地図(地図画像)表示ソフトにおける、計測メニューの「概略経緯度」及び表示メニューの「世界測地系グリッド」は、図郭四隅ファイル座標を基準に計算しています。そのため、図葉ファイル中に分図が存在

する場合、分図の図郭内での「概略経緯度」及び「世界測地系グリッド」は有効な数値ではありません。また、分図の位置関係を示す位置図の図郭内については、計測メニューの各機能（概略経緯度、概略距離、概略面積）及び表示メニューの「縮尺目盛り」「世界測地系グリッド」に示される数値は有効な数値ではありません。

## 6. 数値地図 200000（地図画像）座標変換用図葉代表パラメータファイルフォーマット

数値地図 200000（地図画像）座標変換用図葉代表パラメータファイルは、20 万分 1 地勢図の一図葉内の経緯度の値を、日本測地系から世界測地系に簡易に変換するための数値を格納した CSV 形式のファイルです。「TKY2JGD」（注 1 参照）で使用している座標変換パラメータファイル「TKY2JGD.par」を元に作成しました。

数値地図（地図画像）表示ソフト（Ver3.1 以降）及び管理ファイル変換ソフトにおいて使用します。ファイル名は、「200\_2000.PRM」で、項目とその内容は次のとおりです。

### 【数値地図 200000（地図画像）座標変換用図葉代表パラメータファイルフォーマット】

[ファイル名：200\_2000.PRM; ファイル形式：CSV(カンマ区切りテキスト)形式]

項 目	内 容	
ヘッダ部	2 行。パラメータファイルの名称とバージョン。各フィールドの項目名。 (例) DIGITAL MAP 200000(MAP IMAGE)PARAMETER Ver.1.1,,,,,,,,,[CR+LF] 1stMeshCode,upper left dB,upper left dL,lower left dB,lower left dL,lower right dB,lower right dL,upper right dB,upper right dL[CR+LF]	
パラメータ部	1 行が 20 万分 1 地勢図 1 図葉に対応	
(緯度差、経度差は秒単位。小数点以下 3 桁まで)	2ndMeshCode	20 万分 1 地勢図に対応する 1 次メッシュコード 例：5339
	upper leftdB	図郭四隅左上緯度差（世界測地系緯度 - 日本測地系緯度）例：11.562
	upper leftdL	図郭四隅左上経度差（世界測地系経度 - 日本測地系経度）例：-11.578
	lower leftdB	図郭四隅左下緯度差
	lower leftdL	図郭四隅左下経度差
	lower rightdB	図郭四隅右下緯度差
	lower rightdL	図郭四隅右下経度差
	upper rightdB	図郭四隅右上緯度差
	upper rightdL	図郭四隅右上経度差
		行末は [CR+LF]

注 1)「TKY2JGD」は、従来の日本測地系(TokyoDatum)の座標値を、現在の世界測地系(JGD2000)の座標値に変換するプログラムです。

注 2)本パラメータは、20 万分 1 地勢図単位の世界測地系による経緯度の値を簡易的に計算するためのものです。

より正確に求める場合には、「TKY2JGD」をご使用ください。

注3) 各パラメータ値共に秒単位小数点以下3桁となっていますが、小数点以下の末尾が“0”の場合は表示を省略しています。(例: 12.000 12, 12.300 12.3, 12.340 12.34 等)

注4) 数値地図(地図画像)表示ソフト(Ver3.1以降)では、日本測地系による「数値地図200000(地図画像)」CD-ROMについても、世界測地系による経緯度の表示が可能となっています。これは、数値地図(地図画像)表示ソフトの内部処理で、日本測地系による管理ファイル(KANRI.CSV)の図郭四隅の経緯度に数値地図200000(地図画像)座標変換用図葉代表パラメータファイル(200\_2000.PRM)のパラメータ値を加えることにより表示しているものです。

注5) 日本測地系による「数値地図200000(地図画像)」CD-ROMの管理ファイル(KANRI.CSV)から世界測地系による管理ファイル(KANRI2K.CSV)を作成する場合は、「管理ファイル変換ソフト」(kanrconv.exe)を使用して下さい。

## 7. 陰影図ファイルフォーマット

### (1) 概要

20万分1地勢図1面のぼかし版が陰影図ファイルとして1つのJPEGファイルとなっています。

陰影図ファイルは、図葉ファイル同様、20万分1地勢図のぼかし版を1図葉ずつ画像データとして数値化(1画素100 $\mu$ m)したファイルが格納されています。

### (2) 陰影図ファイルの仕様

陰影図ファイルは、JPEGフルカラー(24bit)ファイルです。

陰影図ファイルの画像データは、図葉ファイルのものと同様、図郭左上隅から左方及び上方に10.0mmの地点と図郭右下隅から右方及び下方に10.0mmの地点を結ぶ線に対角線とし、上辺と平行な辺を含む長方形となっています(ただし、延伸図の場合は、図を含む範囲を適宜設定しています。)。したがって、JPEGファイル内の画像データは、TIFFファイル内の画像データのピクセル方向と一致しています

陰影図ファイルについては、表示ソフトを添付していませんので、画像表示ソフト及びインターネットブラウザ等、JPEG形式データが取り扱い可能なソフトをご利用下さい。陰影図ファイルのピクセル数(縦方向、横方向)及び解像度は図葉ファイルと同じです。また、新図郭地勢図では、図葉ファイルとの重ね合わせを考慮し、図郭四隅位置にL字形の目印を付しております。